

[た よ り]

鹿児島県透析医学会だより

前田 忠

鹿児島県透析医学会は、日本透析医学会の鹿児島県支部として、日本透析医学会会長 平澤由平先生のお勧めにより、昭和61年2月9日発足しました。初代会長は、牧角仙丞先生、第1回の総会を昭和61年5月11日に開催しております。

平成12年7月31日現在の会員数は89名（施設長54名、勤務医35名）、このうちの29名が日本透析医学会の会員です。年会費は、施設長が2万円、勤務医が1,000円です。毎年1回総会と講演会を開催しているほかに、会員相互の親睦を図り、看護部会、臨床工学技士会、患者会との相互協力で、より良い透析医療の維持、発展に努力しております。

鹿児島県透析医学会で、今までに行われた講演内容は、表1のとおりです。

本会の、最近の活動状況を報告致します。

(1) 平成11年5月22日、第13回鹿児島県透析医学会総会、学術講演会を行う。特別講演『日本透

析医学会の現況と課題－診療報酬、施設基準、介護保険－』講師、山崎親雄先生。

(2) 平成11年8月5日、鹿児島県透析保険懇談会を行い、鹿児島県の透析関係の社保、国保審査医が出席し、透析保険審査の現状について話し合う。

(3) 平成11年9月11日、第2回学童糖尿病検診研究会（東京ホテルイースト）、パネルディスカッション『学童糖尿病検診の活用とその意義－医師会、教育委員会との連携と事後処置－』で鹿児島市の学童腎臓・糖尿検診の現況について発表（前田）。

(4) 平成11年10月17日、臓器移植普及街頭キャンペーンに透析医学会、看護部会、臨床工学技士会、患者会が参加し、腎移植の理解を訴える。

(5) 平成11年12月21日、コンピューター2000年問題で、透析医療機関のライフライン確保のため、鹿児島市水道局、九州電力、NTTを訪問し、

表1 鹿児島県透析医学会特別講演内容

開催日	講師	演 題
昭和63年10月30日	平澤由平先生	透析医療の最近の進歩
平成元年5月20日	高橋 進先生	CAPD治療をとりまく問題点
平成2年5月12日	阿岸鉄三先生	ブラッドアクセストラブルの手術的治療
平成3年6月1日	佐中 孜先生	透析療法と活性酸素
平成4年5月26日	山上征二先生	透析をめぐるエンドトキシンの諸問題
平成5年4月17日	樋口順三先生	透析25年の流れ
平成6年5月14日	山崎親雄先生	経済的にみた今後の透析医療
平成7年5月13日	藤見 惺先生	福岡赤十字病院における透析医療体制
平成8年6月13日	平澤博之先生	急性臓器不全と血液浄化法－その適応と有効性－
平成9年6月28日	富永芳博先生	腎性上皮小体機能亢進症の外科治療
平成10年5月16日	打田和治先生	腎臓移植、できること！できないこと！－650例の経験から－
平成11年5月22日	山崎親雄先生	日本透析医学会の現況と課題－診療報酬・施設基準・介護保険－
平成12年6月3日	入江康文先生 合屋忠信先生	透析医療30年、その今昔 ブラッドアクセストラブルの対応

要望を行う。

- (6) 平成 12 年 2 月 12 日, 第 1 回鹿児島県透析医学会・鹿腎協合同懇談会を行い, ①「2000 年度全腎協全国大会 in 鹿児島」実施要項の説明, ②当面する透析医療の問題点と情報交換, について話し合う。
- (7) 平成 12 年 3 月 14 日, 鹿児島県透析医学会幹事会を行い, ①鹿児島県透析医学会人事の件, ②透析医学会災害時情報ネットワークの委員選出の件, ③平成 12 年度鹿児島県透析医学会総会開催の件, ④鹿児島県透析医学会ゴルフ同好会 (ダイア会) 開催, 等について話し合う。
- (8) 平成 12 年 5 月 14 日, 第 1 回ダイア会を南国カンツリークラブで開き, 会員相互の親睦を深める。
- (9) 平成 12 年 5 月 28 日「2000 年度全腎協全国大会 in 鹿児島」が『いのちの声を未来に届けて—腎臓病の予防から治療, 社会参加まで—』をテーマに鹿児島市民文化ホールで開かれ, 全国から 1,138 名の患者, 家族, 医療関係者が参加された。7 つの分科会のうち, 鹿児島県透析医学会から『よりよい透析を求めて』に上山先生が, 『21 世紀の腎不全医療を考える』に中島先生が, 『多様化する CAPD への対応』に濱田先生が, 『移植医療のいっそうの普及を求めて』に八木先生が指導助言者として出席した。大会終了後, 186 名の透析患者さんが, じんあいクリニック, 白石病院, 今村病院分院, 南風病院, 前田内科クリニック, 済生会鹿児島病院, 鹿児島生協病院で夜間透析をうけた。
- (10) 平成 12 年 6 月 3 日, 第 14 回鹿児島県透析医学会総会, 講演会を行う。特別講演 I, 演題『透析医療 30 年, その今昔』講師入江康文先生, 特別講演 II, 演題『ブラッドアクセストラブルの対応』

表 2 県内各保健医療圏における情報収集連絡透析医療機関

保健医療圏名	医療機関名	責任者氏名
鹿児島医療圏	○前田内科クリニック ◎上山病院 済生会鹿児島病院 今村病院分院 白石病院	前田 忠 上山達典 上田博章 中島 哲 伊集院賑處
指宿医療圏	上村内科クリニック	上村伸一郎
南薩医療圏	サザン・リージョン病院 県立薩南病院	牧角寛郎 大橋 保
日置医療圏	藤井クリニック	藤井公也
川薩医療圏	済生会川内病院	濱田富志夫
出水医療圏	内山病院	古郷米次郎
伊佐医療圏	寺田病院	寺田 宰
始良医療圏	加治木温泉病院	水田敏久
曾於医療圏	高原病院	高原篤重
肝属医療圏	池田病院	池田 徹
熊毛医療圏	田上病院	田上容正
奄美医療圏	水間内科医院	水間厚美

◎本部 ○副本部

講師合屋忠信先生で, 医師・看護婦・臨床工学技士 162 名出席。

- (11) 平成 12 年 7 月 25 日, 鹿児島県角膜・腎臓バンク協会理事会がサンロイヤルホテルで開催された。鹿児島県では, 昭和 60 年より, 平成 11 年までに 19 名 (生体腎 15 名, 死体腎 4 名) が施行されており, 平成 11 年には, 鹿児島大学で 2 例の生体腎移植が行われた。
- (12) 日本透析医学会災害時情報ネットワーク活動の一環として, 鹿児島県内の各保健医療圏に情報収集連絡透析医療機関を決め (表 2), 各病院について, ①医療機関名, ②責任者氏名, ③代表電話番号, ④ファックス番号, ⑤災害時優先電話番号, ⑥責任者の携帯電話番号, ⑦E メールアドレス, を作成中である。